



熊本大学発→サイエンスcafé

コミュニケーションを デザインする

コミュニケーションに
悩む社会人に最適！

10月1日 (土)

14:00 - 15:30

熊本市現代美術館 アートロフト

**入場
無料**

MindがFullな状態から解き放って、Mindfulに！

「良い逸脱」を意味するポジティブ・ディビアンズとは、問題の生じている中で例外を見つけ、何が功を奏してその例外がうまくいっているのかを探すことです。同じ条件なのになぜかその人だけが、うまくいっている。そのカギはとて小さな、見過ごされがちなことかもしれません。

企業や地域、家族にいたるまで、ありとあらゆるコミュニティの中で人間関係はその集団のパフォーマンスに大きく影響を与えます。人間関係のベースとなるのはコミュニケーションです。ポジティブ・ディビアンズの考え方をコミュニケーションに取り入れてコミュニケーションをデザインすることで、退屈な会議が、気まずい相談が、難しかった人間関係の構築が劇的に良くなるかもしれません…！



かわむら ようこ
GUEST : 河村 洋子

熊本大学 政策創造研究教育センター准教授

熊本大学 大学院先導機構

人文社会科学系国際共同研究拠点 URA推進室 共催



申込先

熊本大学 研究推進課

kenkyu-seminar@jimmu.kumamoto-u.ac.jp

タイトルを「サイエンスカフェ申し込み」とし、本文にお名前、ご連絡先、ご職業を明記の上、上記アドレス宛にメールでお申し込み下さい。

※定員になり次第受け付け終了させていただきます。

QRコードからも
お申し込みいただけます



ポジティブ・ディビアンズ？

ポジティブ・ディビアンズは、「ポジティブな逸脱」を意味します。私たちが見過ごしてしまっているとても小さな行動が、私たちがなんとかかしたい問題に関連するある結果を劇的に良くする解決策である可能性があります。私たちは溢れんばかりの情報とスピード感にこれでもかというぐらいに高い価値を置く社会で生活を送りながら、「時間がない」「忙しい」と口にし、Mind がFullな状態にあると言えるでしょう。つまり、普通に生活を送っていたら、自分にとっての「当たり前」に従うことしかができない、余裕のない状態です。

今回は、ポジティブ・ディビアンズの考え方を、企業などのコミュニティのコミュニケーションに当てはめて、コミュニケーションをデザインすることを提案したいと思います。この考え方を取り入れることで、睡魔との壮絶な格闘を強いられる会議とおさらばできるだけでなく、コミュニティのパフォーマンスにつながるような豊かな人間関係が構築できるかも(!?)しれません。今回の提案のポイントは、簡単だけど、私たちを“Mind がFull”から解き放ち、“Mindful”にしてくれる、ということです。

注意事項

- ・気軽においで下さい。
- ・飲み物の持ち込みは、水筒、ペットボトルに入った水、お茶のみ可です。

熊本市現代美術館 アートロフト

びふれす熊日会館内

通町筋電停または通町筋バス停から徒歩 1分

◆バス

熊本電気鉄道バス・九州産業交通バス・熊本市営バス・熊本バスの各バスより通町（とおりちょう）下車

◆市電

熊本市営電車では通町筋（とおりちょうすじ）下車

本件に関する熊本市現代美術館へのお問い合わせはご遠慮下さい



サイエンスカフェって何？

カフェのような気軽な雰囲気の中で科学を語り合おう

身近にある科学について、ゲストが分かりやすく解説します。

疑問に思うことは何でも聞いて下さい。

お問い合わせ 熊本大学 URA推進室 担当：黒木（くろぎ）・福田 096-342-3303・3307
research-coordinator@jimmu.kumamoto-u.ac.jp